

大分教育事務所訪問②-33 (計 106)

## 津久見市立保戸島小、中学校に学ぶ2

### 学校経営から学ぶ

小学校2名、中学校1名それぞれの子ども達の夢を実現させるために、日々、教材の工夫や遠隔授業などを取り入れながら実践を行っている本校の皆様には、頭が下がる思いでいっぱいです。

教務主任の新納先生に、それぞれ3名の子どもの特徴を訪ねてみたところ、一人当たり12個以上の良さを笑顔で答えて下さいました。そして、その良さを生かすために、学校をあげていろいろと準備されたり、挑戦させたりしていることに参加した我々も感動しました。

これからも、全職員や保護者、地域の方と共に、一人一人の子ども達の特徴を出し合い、その良さを生かしながら、それぞれどのような資質・能力を育成するか、長期的な支援計画と、学期ごと・単元ごとなど、短期的かつ具体的な計画をもち、カリキュラムを編成されると良いと思いました。



NO.476 2021年11月 津久見市立保戸島小・中学校

## 対峙する

問題と対話する。前の時間との違いを見つける。だから自分の課題となる。



NO.477 2021年11月 津久見市立保戸島小・中学校

## 真剣勝負

課題について議論するとき、学ぶときは対等の関係。だから、いつも真剣なのだ。

### 授業から学ぶ

小学3年生算数は、子どもの困りから課題を発見させ、解決したくなる意欲を持たせる導入の在り方は見事でした。また、多様な考えを持たせる工夫もあり、子どもが一人でも決断を迫るような授業の展開を学びました。

中学1年生の教室からは、NIEの実践や、立場を決める課題を日常的に行っており、そのレベルも高いものだと感じました。数学では、課題を持たせるために丁寧な指導が行われていました。生徒の意欲や能力も高いので、今後は、教科によっては予習を取り入れた授業の在り方を模索してみたい



いかがでしょうか。そのことで生徒は家庭において自主的に学ぶ習慣ができ、授業ではより焦点化された内容を行ったり、さらに深い内容を扱ったりできると思いました。